

臨床は
大きな変革に直面
している

審美とインプラントと修復のデジタル化

修復の予後は咬合と使用材料の関りである。メタルの修復は咬合の変化やオーバーロードのダメージが目視が容易であった。そこに時代の流れが、QOLという定性化や定量化の困難な正体不明の使者を送り込んできた。「より硬く、強く、美しく…」を標語に審美というジャンルが確立された。ほぼ時を同じくしてインプラントという特急列車が登場。停車駅も判らぬままに飛び乗らざるを得なかった臨床の現場は戸惑うばかりになってしまった。新しい解決策は常に別の深刻な問題を引き連れて登場する。直面した問題を一つ一つ片付け、沢山の変数をゆっくり解決しなければならない。今回の機会に、メタルから次の一步を踏み出したセラミック修復の未解決の点に眼を向けながら、解決されようとしている光明と、大いなる可能性の扉を少し開いてみたい。



内藤 正裕先生

内藤デンタルオフィス 開業

Profile

- 1944年 東京生まれ
- 1968年 日本大学歯学部卒
- 1978年 内藤デンタルオフィス開業
- 2001年 神奈川歯科大学臨床教授

講演内容

1. 今、直面するオーバーロードの危機
2. 形成、印象の再考察
3. セラミックの分類と選択基準
4. 破折の原因を探る
5. 咬合調整の実技
6. デジタル化の可能性

開催日

東京 2011年5月22日(日) 開場 12:30
大阪 2011年5月29日(日) 開演 13:00
終了 17:00

会場

東京 時事通信ホール
〒104-8178 東京都中央区銀座5-15-8
大阪 新大阪ブリックビル A+B
〒532-0008 大阪府大阪市淀川区宮原1丁目6番1

会費

5,000円(会費は税込み価格です)

定員

東京 150名 大阪 100名

主催

スリーエムヘルスケア株式会社

フリーダイヤルFAX番号 0120-118-024 スリーエム学術講演会事務局

講演会
お申し込み方法

お問い合わせ先

講演会ご招待申込書

下記に必要事項をご記入の上、FAXでお申し込みください。複数ご参加の場合は、予めコピーしてください。